

2019年度 第104期 第2四半期

IR通信

2019年4月1日～2019年9月30日

More Smoothly!

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2019年度第2四半期累計期間の事業環境は、公共投資が底堅く推移し、民間設備投資も企業収益の改善を背景に増加したものの、受注競争の激化や労働者不足などが続く状況にありました。

こうした中、当社グループは、中期経営計画〔2018～2020年度〕に基づき都市圏の事業拡大や営業・施工体制の強化、業務改革の推進等の諸施策を進めてまいりました。

以上の結果、2019年度第2四半期連結累計期間の業績は次のとおりとなりました。

売上高は、屋内電気工事や空調管工事を中心に当社の工事部門全てで増加したことなどにより、前年同期に比べ増収となりました。

営業利益は、売上高の増加に加え、原価管理の徹底や効率化施策による生産性向上などにより売上総利益が増加し、前年同期に比べ増益となりました。

受取利息などの営業外損益を加えた経常利益および親

会社株主に帰属する四半期純利益は、営業利益の増加および投資有価証券売却益を計上したことなどにより前年同期を上回りました。

今後の事業環境は、引き続き公共投資は底堅く推移し、民間設備投資も増加することが期待されますが、依然として受注競争の激化や労働者不足などが続く状況が予想されます。

このような状況のもと、当社グループは、中国地域におけるリニューアル工事の提案営業や工場工事の受注・施工体制の強化、都市圏の営業基盤の拡充などを推進し、受注の確保・拡大を図ってまいります。

また、原価管理を徹底するとともに、ITの活用等による生産性の向上により、利益の確保・拡大に取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも当社グループの事業に格別のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



2019年11月

連結業績

(単位：百万円、%)

区分	2018年度	2019年度	増減額	増減率
	〔第103期〕 〔第2四半期(累計)〕	〔第104期〕 〔第2四半期(累計)〕		
売上高	62,975	75,073	12,098	19.2
営業利益	1,410	2,619	1,208	85.7
経常利益	2,623	3,833	1,210	46.1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,536	2,947	1,410	91.8

代表取締役会長
小畑 博文
Obata Hirofumi

代表取締役社長
迫谷 章
Sakotani Akira



連結決算ハイライト

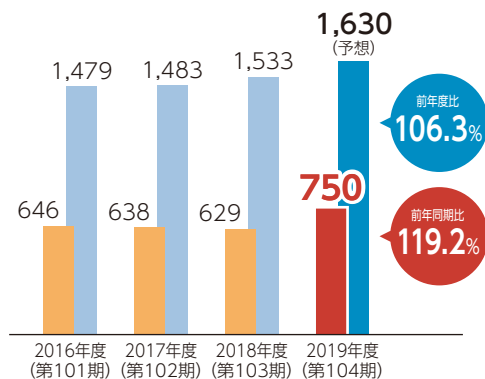
決算POINT

増収・増益

当社の全工事部門の売上増により増収、
売上増と生産性向上等による売上総利益増により増益

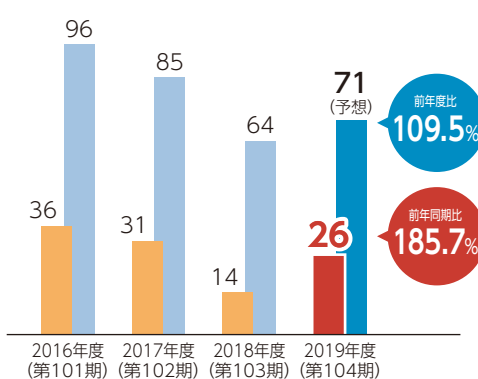
売上高

■第2四半期(累計) ■通期 (億円)



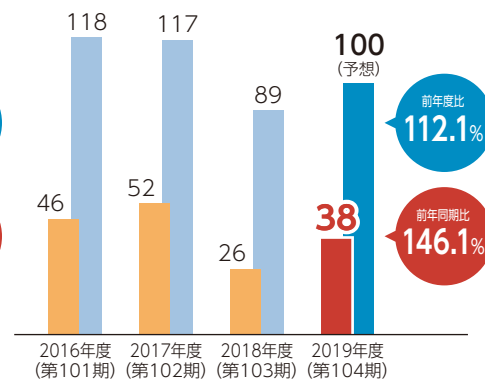
営業利益

■第2四半期(累計) ■通期 (億円)



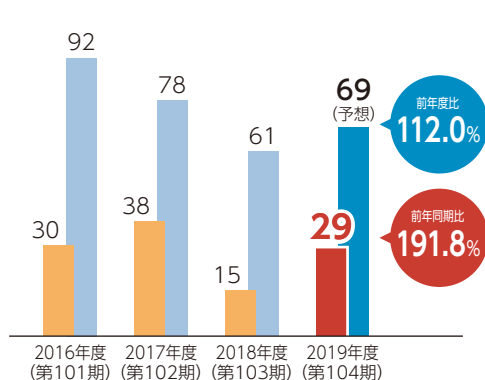
経常利益

■第2四半期(累計) ■通期 (億円)



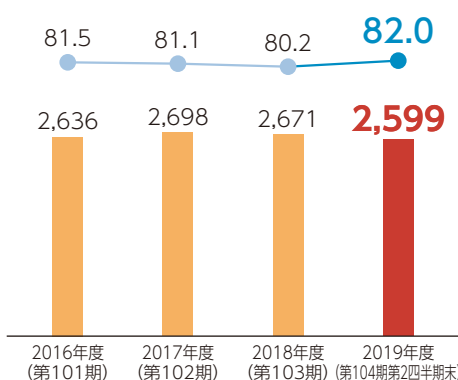
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

■第2四半期(累計) ■通期 (億円)



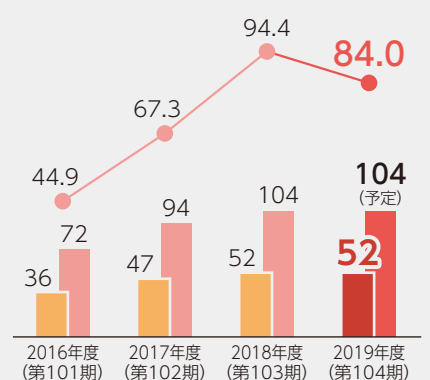
総資産/自己資本比率(※)

■総資産(億円) ●自己資本比率(%)



配当金/配当性向

■中間配当金(円) ■年間配当金(円) ●配当性向(%)



第2四半期 工事種別受注高・売上高(個別)

受注高

747億円

売上高

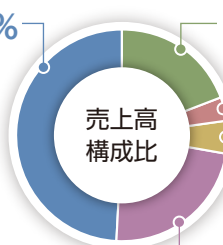
663億円



屋内電気工事

	2018年度 [第103期] [第2四半期(累計)]	2019年度 [第104期] [第2四半期(累計)]
受注高(億円)	352	384
売上高(億円)	286	324

48.9%



配電線工事

	2018年度 [第103期] [第2四半期(累計)]	2019年度 [第104期] [第2四半期(累計)]
受注高(億円)	120	125
売上高(億円)	118	128

19.3%



空調管工事

	2018年度 [第103期] [第2四半期(累計)]	2019年度 [第104期] [第2四半期(累計)]
受注高(億円)	127	164
売上高(億円)	104	153



情報通信工事

	2018年度 [第103期] [第2四半期(累計)]	2019年度 [第104期] [第2四半期(累計)]
受注高(億円)	39	55
売上高(億円)	18	34

23.1%



発送変電工事

	2018年度 [第103期] [第2四半期(累計)]	2019年度 [第104期] [第2四半期(累計)]
受注高(億円)	23	18
売上高(億円)	22	23

5.2%

3.5%

(※)2017年度(第102期)については、会計基準の変更に伴う遡及修正を行っています。

TOPICS

2019年
4月

文部科学大臣表彰 創意工夫功労者賞を受賞

配電安全品質部の山根克友氏が考案した「電線カバー挿入機（軽量型）の改良」が平成31年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 創意工夫功労者賞を受賞しました。

この考案では、電線カバー挿入機の重量を7.5kgから5.0kgに軽量化し、高電圧のみならず低圧充電配電線路への使用を可能としたことに加え、雨天・積雪時の作業でのタイヤ滑りの防止や、建設用防護管の取付・撤去スペックの向上を実現し、作業者の負担軽減と作業効率の大幅な向上に成功しました。

4月18日には、広島県庁において伝達式が行われ、湯崎広島県知事から表彰状と記念品が授与されました。



▲表彰状を受け取る山根氏(左)

2019年
4月

岡山統括支社 ZEB 新社屋完成

4月に竣工した岡山統括支社新社屋は、50%以上の省エネを達成する「ZEB Ready」で建設しており、環境に配慮するための建築的な工夫や省エネに寄与する高効率設備機器のほか、太陽光発電設備と蓄電池を組み合わせたBCP対策設備等を備えるとともに、北面の総ガラス張りや事務室の無柱化など、実用性だけでなくデザイン性にも優れた設計となっています。

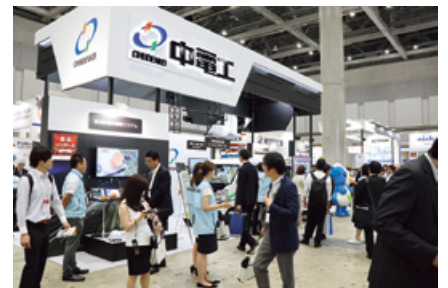


2019年
5月

「JECA FAIR 2019」に出展

5月22日から24日までの3日間、東京ビッグサイトで開催された「JECA FAIR 2019」に出展しました。当社ブースでは、製品コンクールへ応募した「高速移動体検知システム」を含む6点の製品と神戸市の早水電機工業株式会社（当社グループ企業）の製品2点を展出したほか、海外への取り組みも紹介しました。

3日間の当社ブースへの来場者数は、昨年を上回る約3,000名に上り、今年は中国や韓国など海外からの来場者も目立ちました。



2019年
5月・8月

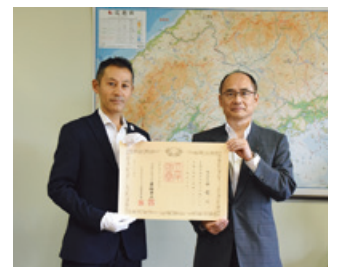
西日本豪雨災害への復旧対応に対する感謝状・紺綬褒章を受領

5月16日、経済産業省から昨年7月に発生した西日本豪雨災害への復旧対応に対する感謝状を受領しました。

8月30日には、西日本豪雨災害の被災者や被災地の救済・復興に役立てていただくために行った当社グループから広島県への寄付に対し、紺綬褒章を受章しました。



▲感謝状を受領する迫谷社長（右）



▲褒状を受領する林業務本部長（右）

2019年
10月

「ドーハ2019世界陸上競技選手権大会」に二岡選手が出場

10月6日に行われた「ドーハ2019世界陸上競技選手権大会」の男子マラソンに陸上競技部の二岡選手が出場しました。厳しい暑さの中、懸命な走りで見事完走し、2時間19分23秒の記録で37位でゴールしました。

当日は、本店にて早朝6時からパブリックビューイングを実施し、小畑会長・迫谷社長をはじめ約200名の社員が力走する二岡選手を応援しました。

力走する二岡選手▶



会社概要 (2019年9月30日現在)

設立年月日	1944年(昭和19年)9月29日
資本金	34億8,190万5,850円
従業員数	3,443名
主要な事業内容	屋内電気工事、空調管工事、情報通信工事、配電線工事、発送変電工事の設計施工
本店	広島市中区小網町6番12号
主要な事業場	広島・岡山・山口・島根・鳥取統括支社、東京・大阪本部、電力建設所

株式の状況 (2019年9月30日現在)

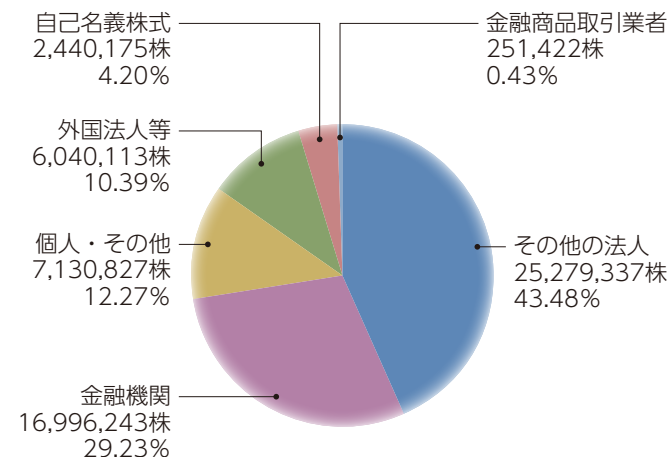
発行可能株式総数	260,000,000株
発行済株式の総数	55,697,942株 (自己株式2,440,175株を除く)
株主数	6,501名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
中国電力株式会社	21,892,259	39.30
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,497,900	4.48
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,763,200	3.16
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(三井住友信託銀行再信託分・株式会社もみじ銀行退職給付信託口)	1,673,900	3.00
株式会社中国銀行	1,398,619	2.51
株式会社山陰合同銀行	1,256,481	2.25
明治安田生命保険相互会社	1,129,465	2.02
株式会社広島銀行	1,036,180	1.86
株式会社山口銀行	1,000,279	1.79
中電工従業員株式投資会	959,019	1.72

(注) 当社は、自己株式を2,440,175株保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況 (2019年9月30日現在)



株主メモ

決算期日	毎年3月31日
定時株主総会開催時期	毎年6月中
同総会権利行使株主確定日	毎年3月31日
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所・問合せ・郵便物送付先

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777 (通話料無料)

公告方法

電子公告により、当社ウェブサイト (<http://www.chudenko.co.jp/info/topic/news.html>) に掲載いたします。
ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、広島市において発行する中国新聞並びに日本経済新聞に掲載いたします。

上場証券取引所 株式会社東京証券取引所

重要なお知らせ

特別口座の株主さまへ

株券電子化により、すべての上場会社の株式は、証券会社等の口座で電子的に管理されるようになりました。株券電子化移行時点で、証券会社を通じ株券を「株式会社証券保管振替機構」に預けられていなかった株式、あるいは単元未満登録株式等株券が発行されていない株式など、証券会社の株主さまの口座で電子的に管理されなかった株式は、株主権保護のため、当社が株主さま名義で三菱UFJ信託銀行に開設した特別口座にて電子的に管理しています。

しかしながら、特別口座に記録された株式は、このままでは証券市場での売却等ができないばかりか、相続手続きが煩雑になるなどの制約がございます。

つきましては、次の当社特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行へご連絡のうえ、「口座振替申請」のお手続きを行っていただきますようお願いいたします。

特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

☎ 0120-094-777 (通話料無料)

単元未満株式(100株未満の株式)をお持ちの株主さまへ

当社の株式は、100株が1単元(売買単位)となっており、100株に満たない株式(単元未満株式)は、市場で売却することができません。

単元未満株式は、当社に対して買取請求(売却する)、または買増請求(買い増して100株にする)ができますので、ご検討いただけますようお願いいたします。

【お問い合わせ・ご請求先】

- ① 証券会社に単元未満株式をご所有の株主さま 株主さまの口座がある証券会社
- ② 特別口座に単元未満株式をご所有の株主さま 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)

ご注意 このお知らせは、口座振替申請・買取請求等を強制するものではありません。本手続きに際しましては、株主さまご自身でご判断くださいますようお願いいたします。

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



環境にやさしい植物油インキ
(ベジタブルインキ)を使用
しています。